

関東夏ロボコン2019

FAQ

2019.07.29

※ 2019年7月14日までに受信した質問より。質問は、重複するものを除き可能な限りすべて掲載します。また、補足情報を掲載する場合があります。

目次

1. 用語と定義(R1)
2. 競技概要(R2)
3. 試合の進行(R3)
4. リトライ(R4)
5. 違反(R5)
6. 失格(R6)
7. チーム(R7)
8. ロボット(R8)
9. フィールドオブジェクト(F)
10. その他(O)

用語と定義(R1)

- R1.1 Q. 「ルールブック3.6.1」について、「着地」および「完全に着地」の定義はなんですか？
- A. 「着地」は「フィールド上に接地点を持つこと、または「着地」している他の「盗聴器」と接触していること」です。また「完全に着地」は「エリア内に完全に侵入している「盗聴器」が、フィールド上に接地点を持つこと、または同じエリアに「完全に着地」している他の「盗聴器」に接触していること」です。
- R1.2 Q. 「ルールブック3.5.2」について、「発射エリア」に接地」とは何か。具体的には機体の一部でも「発射エリア」上空にあれば良いのか？
- A. 「発射エリア」に接地」とは「発射エリア」に接地点を持つことです。ロボットの一部が「発射エリア」に触れていれば接地しているとみなします。

競技概要(R2)

試合の進行(R3)

- R3.2 Q. 「ルールブック 3.2.4」について、味方や相手のロボットや「ケース」・フィールドの木枠に当たった後、ロボットや「ケース」・木枠・「都市エリア」・「都市エリア」以外に落ちた場合はどのように対処されるか。
- A. 「盗聴器」が当たったものがどのエリアに存在するかによって判断します。また、得点は着地したエリアによって判断します。例えば「盗聴器」が「都市エリア」に接地したロボットに当たって「都市エリア」外に出た場合、「都市エリア」に発射したとみなしますが、得点は「都市エリア」外に着地したとみなし加点されません。
- また、「ケース」が「ボーナスゾーン」に侵入することを禁止します。「ケース」が「ボーナスゾーン」に侵入した場合、違反となり以下の通りに強制リトライが課されます。
- ①相手スパイロ봇が「発射エリア」に接地していない場合、すぐにリトライが課せられます。
- ②相手スパイロ봇が「発射エリア」に接地しているかつ相手スパイロロボットの発射行動が止められる場合、相手チームの発射を止めリトライが課せられます。
- ③相手スパイロロボットの「発射エリア」に接地しているかつ相手スパイロロボットの発射行動が止められない場合、相手チームの発射が終わり次第リトライが課せられます。
- R3.4-1 Q. 「ルールブック 3.4.3」について、「盗聴器」をスパイロボットに渡す際にケースに入れて渡さなければならない」とあるが、スパイロボットに盗聴器を渡し終わったあとに、スパイロボットがケースを持っている必要があるのか。
- A. ありません。
- R3.4-2 Q. 「ルールブック 3.4.3」について、底がない筒状形状のものや、洗濯バサミの様に盗聴器を挟む形状のものは、盗聴器を入れるケースとして認められるか。
- A. 認められます。「ケース」の形状については制限はありませんが、競技開始時点で「ケース」がエネルギーを持つことは禁止します。
- R3.5-1 Q. 「ルールブック 1」について、ケースを複数個用意する場合、盗聴器を入れる目的では使用しないケースがあっても良いか。例えば、土台としてのみ使用する場合はケースとして認められるか。
- A. かまいません。

R3.5-2 Q. 「ルールブック 3.5.2」について、ケースは複数個用意してもよいか。用意してよい場合、大きさの制限に個々のケースが収まればよいのか、全てのケースを合わせて収める必要があるのか、どちらか。

A. 「ケース」は複数個用意してもかまいません。セッティングタイム開始時に全ての「ケース」を合わせて制限に納めてください。

R3.5-3 Q. 「ルールブック3.5.3」について、ケースにばねや磁石を搭載することは可能か。

A. 「ケース」にバネや磁石を搭載することは認められますが、これらを「盗聴器」を投げる目的で用いることは認められません。

R3.6-1 Q. 「ルールブック 3.6.1」について、添付した画像の1～11の盗聴器は、それぞれ 2) の得点の条件を満たしているか。また、リトライ以外で条件を満たさなくなった場合は得点はリセットされるのか。例えば、一度ボーナスゾーンでバウンドしてからゾーンの外に出た場合や、他の盗聴器・風・ケース等によってゾーンの外に押し出された場合はどうなるか。



A. 6および7は得点の条件を満たします。3について「盗聴器」が一切ボーナスゾーンの外に出ていなければ得点として認められます。その他の「盗聴器」についてはルールブック3.6.1-2の条件を満たしません。また、リトライ以外でも条件を満たさなくなった場合は得点はリセットされます。

R3.6-2 Q. 「ルールブック3.6.1」について、「完全に着地している」とは何か。具体的には「盗聴器」の上に「盗聴器」がある状態はどのように判定されるのか。

A. 定義についてはR1.1を参照してください。また、対象となる「盗聴器」が以上の定義に従い「完全に着地」しているのであれば、得点が加算されます。

- R3.6-3 Q. 「ルールブック 3.6.1」について、いつ・どの状態で得点が追加されるか。また、得点が追加されたあと相手ロボットに盗聴器が回収されるなどして盗聴器の状態が変化した場合得点は変化するか。
- A. 得点は、「ルールブック3.6.1」に規定されている各条件を審判が確認した時点で増減します。「盗聴器」の状態に対して与えられる得点(1)(2)は常に更新されます。ただし、罰則による減点(3)は一度課されたものは試合終了まで変化しません。

リトライ(R4)

- R4-1 Q. リトライ中に空気の再充填は可能か。
- A. 認められますが、試合中はコンプレッサーを使用できません。
- R4.7-1 Q. 「ルールブック4.7」について、公安ロボットが「盗聴器」をスパイロボットに受け渡す前に地面に落としてしまった場合、戦略的にリトライを行い、地面に落ちた盗聴器をスタートゾーンにセッティングし直すことは可能か。
- A. フィールドに落とした「盗聴器」はセッティングし直すことはできません。
- R4.7-2 Q. 「ルールブック4.7」について、「搭載」とはどのような状態を指すか。具体的にはロボットが「盗聴器」に触れていればよいのか。
- A. 「盗聴器」、「ケース」本体や「ケース」に入った「盗聴器」がロボットにのみ触れている状態を指します。

違反(R5)

- R5.1-1 Q. 「ルールブック 5.1.9」について、公安ロボットからスパイロボットへ「盗聴器」を受け渡す際に、「盗聴器」を発射することは違反になるのか。
- A. 違反となります。
- R5.1-2 Q. 「ルールブック 5.1.6」について、スパイロボットは「盗聴器」を発射する瞬間、全ての設地点が「発射エリア」に完全に収まる必要があるのか。また空中で「発射エリア」以外に侵犯した場合は失格となるのか。
- A. スパイロボットが「盗聴器」を発射する瞬間にすべての接地点が「発射エリア」上にある必要はありません。また、スパイロボットの一部が「発射エリア」以外に侵入・接地していてもかまいません。

- R5.1-3 Q. 「ルールブック 5.1.8」について、ボーナスゾーンへの侵入とは上空も含むのか。
- A. 含みます。

失格(R6)

チーム(R7)

ロボット(R8)

- R8.5-1 Q. 「ルールブック8.5」について、展開制限に「ケース」は含まれますか。
- A. 含まれません。

フィールド・オブジェクト(F)

- F1 Q. 「競技フィールド・オブジェクト図面2-1」について、LIVING SLIPPERS CY-SL002Zはどこで購入可能か。
- A. 2019年6月23日現在、100円ショップ「Can☆Do(キャンドゥ)」駒込店で購入可能であることを確認しています。

その他(O)